

第28回日本認知症学会学術集会 イブニングセミナー2

認知症診断 連携パス

への取り組み

と

認知症診断における

神経核医学 検査

の有用性

11月21日(土) 17:00 → 18:00

東北大学百周年記念会館

第一会場(大ホール)

〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内40

座長

福山 秀直 先生

京都大学大学院医学研究科附属
高次脳機能総合研究センター
脳機能イメージング領域 教授

演者

織茂 智之 先生

関東中央病院 神経内科部長

共催 第28回日本認知症学会学術集会 日本脳神経核医学研究会
日本メジフィジックス株式会社

 nihon
medi+physics

認知症診断連携パスへの取り組みと認知症診断における神経核医学検査の有用性

本邦における認知症患者は、高齢化社会とともにますます増加傾向にあるが、その臨床診断は、特に認知症非専門医においては必ずしも容易ではない。一方で最近認知症においても有効な薬剤が次第に導入されつつあり、疾患修飾薬剤の開発も進められており、治療の選択、開始にあたっての早期診断・診断確度向上の重要性が高まっている。

世田谷区では、平成14年から世田谷区医師会、玉川医師会と共同で、世田谷区民への認知症啓蒙目的に区民フォーラムを開催するとともに、診療所医師に対し認知症の研修、アンケート調査を行い、認知症診療上の問題点を明らかにした。これらの流れを受け、われわれは世田谷区における認知症診断の向上を目的に、“世田谷区認知症診断地域連携クリティカルパス”を作成し、平成21年4月から世田谷地区8病院と診療所医師が同じパスの様式を用い認知症診断の連携を開始した。

パスの流れは、1)診療所医師から病院医師への診療情報提供書には、認知症の初期徴候をとらえうるOLD (Observation List for early signs of Dementia)に加え3つの神経徴候(構音障害・嚥下障害、振戦、歩行障害)がリストアップされており、これらを診療所医師がチェックする。2)紹介を受けた病院医師は、病歴聴取、一般身体所見、神経学的所見、神経心理学的検査に加え、補助診断として血液検査や画像検査を行い、確定診断をつけて診療所医師に同じ様式の診療情報提供書で返事を書き、診療所医師に一定期間患者をフォローしてもらう。患者は一連の流れや今後の予定が解るような説明書もらう。3)一定期間後、診療所医師から病院医師へ、定期チェック目的に再度患者を紹介してもらう、というものである。

われわれは補助診断検査のなかで、画像検査として脳MRIとともに神経核医学検査(脳血流シンチ、MIBG心筋シンチ)を取り入れている。脳血流シンチは、アルツハイマー病では後部帯状回、嗅前部、頭頂・側頭葉、Lewy小体型認知症では後頭葉、前頭側頭型認知症では前頭・側頭葉の血流低下が認められ、また軽度認知障害では頭頂・側頭葉の血流低下例がアルツハイマー病にコンバートするなど、認知症鑑別の補助検査として有用である。MIBG心筋シンチは、心臓交感神経の変性・脱神経によりLewy小体病では心臓のMIBG集積が低下することから、Lewy小体型認知症とその他の認知症との鑑別に有用な補助検査として用いている。

世田谷区認知症診断地域連携クリティカルパスは、“認知症を地域で診る”ための第一歩である。今後介護関係者や行政とも協力し、認知症患者を社会全体で見守る仕組みの構築につなげていきたい。

関東中央病院 神経内科

織茂 智之

About JCNN

日本脳神経核医学研究会について

日本脳神経核医学研究会は、脳核医学に関する基礎および臨床研究の推進とその普及をはかり、それを通じて我が国の学術文化の発展に寄与し、国民の保健と福祉の向上に資すると共に、国際協力につとめることを目的としています。

脳核医学の発展には、放射線科や核医学科において検査を実施する医師や技師に加えて、脳神経外科、神経内科、精神科などで実際の診療に携わる臨床医、装置や医薬品の開発を行う物理工学、薬学、化学などの基礎研究者の協力が不可欠です。本研究会は、これらの学際的な領域の医療関係者や研究者を対象に、セミナーや講演会などを開催して、脳核医学の幅広い普及をめざします。また、脳核医学に関する多くの課題について議論する場を設定して、検査法の確立、臨床使用のためのガイドラインの作成、国際的な枠組みの中で情報交換などを行っていきます。

研究会の会員相互の情報交換には、インターネットを活用して幅広く情報を提供していきたいと考えています。本研究会が主催、共催する行事や関連研究会の案内もホームページでご覧いただけます。会員が情報を共有するとともに、外部に向けて発信できる新しいタイプの研究会を指向して活動を行ってきたいと考えています。この趣旨にご賛同いただき、脳核医学の発展のために、是非本研究会にご参加下さい。

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www2.convention.co.jp/jcnn/>

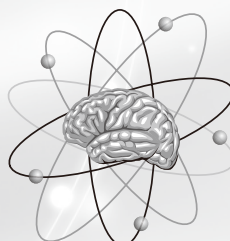
日本脳神経核医学研究会事務局

〒100-0013 千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞ヶ関ビル18F

日本コンベンションサービス株式会社内

E-mail: infojcnn@convention.co.jp

Tel: 03-3508-1214 Fax: 03-3508-1302



JCNN